

## ホームルーム活動(人権) 学習指導案

1 主 題 部落史から学ぶ (同和問題)

2 主題設定の理由 (省略)

3 ね ら い

部落史から学ぶことで、同和問題を自分の問題として考えようとする態度を養う。また、一人一人が地域や家庭、学校、職場などにおいて、同和問題をはじめとした人権問題を正しく理解するために、意見を交換し合い、差別解消に向けて行動しようとする意欲を高める。

4 指 導 計 画

障がい者問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

男女共同参画社会をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

同和問題の解決に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間 (本時)

ハンセン病回復者等の問題から考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

人権尊重社会の実現をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

5 本 時 の 学 習

(1) 目標

自分の出自を明かすか隠すかで悩む主人公の生き方を通して、当時の社会における差別構造に気付くとともに、自分自身の問題として捉え、部落差別を解消するために自分にできることを考え、行動していこうとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・人権尊重の精神、法の下での平等

個別人権課題名・・・・・・・・・・同和問題

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	○本時の学習内容と資料を確認する。	○アンケートツールを用いて、部落差別に関するアンケートに回答させる。 ○映画「破戒」の予告を視聴させて興味をもたせるとともに、本時の目標を理解させる。	
展開 35	○部落史について知る。	○プレゼンテーションソフトを用いて、同和問題について、部落史を中心にスライドで説明する。	○部落史について理解し、現代につながる問題であるこ

分	<p>○資料を読み，漫画の中で印象に残ったことや登場人物に対して伝えたいことを考え，書き込む。</p> <p>○主人公をかばって銀之助が掛けた言葉に対して，自分がその場にいたらどのようなように言うか考える。</p> <p>○自分が銀之助なら，どのような言葉を掛けるか考える。</p>	<p>○授業支援アプリ上の漫画に，色のついたペンで書き込ませる。</p> <p>○解放令が出ても，自分たちで行動しなければ何も変わらなかったことを確認させる。</p> <p>○授業支援アプリ上のワークシートに自身の考えを記入させる。主人公をかばうための発言に，差別意識が含まれていることを理解させる。</p> <p>○差別意識をもつ人たちが周囲に多くいる状況の中で，どのように発言するか考えるよう促す。</p>	<p>とを理解できたか。 (知識的側面)</p> <p>○登場人物の言葉に偏見や差別意識が含まれていることに気付くことができたか。 (技能的側面)</p> <p>○差別意識を問題として捉え，自分事として掛ける言葉を考えることができたか。 (価値的・態度的側面)</p>
まとめ 5分	<p>○本時のまとめを聞き，学びの振り返りをワークシートに記入する。</p>	<p>○部落差別解消推進法のポスターや同和問題に関する資料を提示し，現代につながる問題であることを意識させ，今後の自分がどう行動していくか考えさせる。</p>	<p>○部落差別を解消するために自分にできることを考え，行動する意欲が高まったか。 (価値的・態度的側面)</p>